

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	コンビニ（経営者）	・日常を取り戻してきているので、気温が上がるに連れて外出機会やイベント等も増える。飲料を始め、買上点数が増える見込みである。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・先の予約が非常に好調に推移し、コロナ禍では一番の予約状況となっている。また、全国旅行支援の延長が決まったこともあり、個人利用の落ち込みも最小限になるのではないかと。法人や団体件数、利用者数がいずれも増加しており、個人利用の落ち込み予測は減っていることから、大幅に回復して好調に推移していくと思われる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・一般宴会は、企業ほか団体や組合の宴会になるが、新型コロナウイルス感染症が始まって、2020年1月からは毎週のようにキャンセルが続いていた。3月13日以降、マスクの規制が緩和されたのと同様に、3年2か月ぶりに1件もキャンセルが出ていない。このまま、キャンセル等がなくなり、宴会は必ず復活してくると思う。企業のマインドがかなり上がっている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン会場等の様子を見ても、ようやく終息した印象を受けるので、先の景気は上向く。
	○	商店街（代表者）	・全国旅行支援が月末まで延長が決まり、現状が続くことが期待できる。ただ、半分以上の商材が値上げとなっており、消費者の財布のひもは固くなっている。
	○	一般小売店〔菓〕（経営者）	・商店街の出入が増えてきている。特に、夜の時間帯は、天候も暖かくなったこともあると思うが、かなり増えてきている。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス感染症の行動制限等の解除とともに来客数が増え、購買意欲が高まってくると推測される。
	○	百貨店（店長）	・売上は前年を割ることがなくなってきた。また、催事売上も伸びている。現在は売上の伸びが強いとはいえないものの、確実に前年より増えてきている。ここにきて、徐々にではあるが旅行者や外国人客が増えてきており、今後に期待できるのではないかとみている。
	○	スーパー（経営者）	・地域のイベントや桜祭りも3年ぶりに開催される。その他、高齢者向けのイベントも再開され、とても忙しい。
	○	コンビニ（経営者）	・暖かい陽気で、夏に向けて、来客数や客の動きが良くなる。来客数、購買等は上向いてくる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着いており、春なので少し慌ただしくなっている。前年よりはやや良いような気がする。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に関する規制が緩和され、やや良くなる。
	○	高級レストラン（経営者）	・動きは鈍いながらも、新型コロナウイルス感染症発生前に戻ると思われる。
	○	スナック（経営者）	・ようやく新型コロナウイルス感染症の終わりが見えたようで、当たり前の日常が戻ってくるとの期待も込めて、やや良くなる。
	○	スナック（経営者）	・2月の終わり頃から、やっと団体もちらほら来るようになって、大分皆が新型コロナウイルス感染症を気にしなくなってきた。現場では、本当に実感できている。現場では、今後、更にこうしたケースが増えて改善する可能性があると感じており、良い方向に向かっている。
	○	観光型旅館（経営者）	・全国旅行支援が延長になり、客からの問合せもたくさんある。ただし、新規の集客に旅行支援が使いにくく、ぬか喜びの延長となっている。それでも、桜のシーズンやマスク着用ルールの見直し、また、5月8日からの新型コロナウイルス感染症の5類への分類移行もあり、旅行心理に影響し、徐々にではあるが客の動きが活性化してきている。プラスとマイナスの要因はあるが、トータルでは現状よりも持ち直している。
○	旅行代理店（副支店長）	・5月の新型コロナウイルス感染症の分類の5類への移行による旅行意欲が高まっている。一般企業や団体募集の申込みも徐々に増加傾向である。しかしながら、光熱費等の高騰による旅行自粛の懸念は残る。	
○	タクシー運転手	・徐々に良くなってきている。ただし、夜の動きがまだまだで、夜に飲みに出る客が少ない。	

○	観光名所（職員）	・予約状況は数か月先までおおむね好調だが、旅客が戻ることを想定して求人募集をしても、スタッフが思うように集まらず、人材不足が懸念材料である。
○	遊園地（職員）	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、感染症対策を徹底し万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策の実施や情報の発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
○	ゴルフ場（経営者）	・夜明けも早くなり、気温が高くなってきているので、来場者の顔色も明るくなって、活動的になると思う。また、国内外のプロゴルフが盛んになり、来場者に期待できる。客単価も上がってきている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・ゴールデンウィークに向けての人の動きが気になるところである。コロナ禍での行動制限等が解けて、物品購入よりも行楽へ出かける動きがみられるため、物販は厳しいところがある。
□	百貨店（営業担当）	・ここ何か月も食品、その他各種値上げ品目が増えているので、特に、消費、購買については慎重になってくる。慎重さは今までと変わらない。
□	スーパー（店長）	・値上げ傾向は変わらないが、新型コロナウイルス感染症の規制がなくなり、人の流れは戻ってきているため、プラスマイナスゼロではないか。
□	コンビニ（店長）	・季節要因で若干の変動はある。また、新型コロナウイルス感染症の影響も大分少なくなると思うが、それを考慮に入れても、そう簡単に戻ってくるような、良くなる状況ではないので、変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・賃上げによる個人消費が上昇すれば、数量の回復は期待できるものの、賃上げに伴い、資材価格の上昇があると思うので、良くなりそうな気がしない。
□	家電量販店（店長）	・今春の賃金改定で、消費動向が上がるか注目している。
□	乗用車販売店（経営者）	・ガソリン、電気代の高騰により、新車購入に慎重な動きが続く。
□	自動車備品販売店（従業員）	・物価上昇が続いており、現状と変わらないのではないか。
□	その他専門店〔酒〕（店長）	・今月は動きが良くなって、3か月後には新型コロナウイルス感染症の分類も5類に移行し、マスクを外して自由に動くという形になるので、今月と同じように良いのではないか。今は移動時期で良いというものもあるが、3か月後も今と同じ水準を期待している。ただ、本当に良くなるという確固たる証拠のような物は余りなく、スタグフレーションのなかにあるとも言われており、給料が本当に上がっているかどうかは、分からない。
□	一般レストラン（経営者）	・物価上昇が止まらない限り、景気回復は望めない。また、消費されない国内の良い物が、海外、特に、中国に流れてしまう。
□	一般レストラン（経営者）	・若干上向き傾向のまま、極端な上向きは期待薄である。5年ぶりの価格値上げをちゅうちょしている。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、今以上に悪くならないようにという意味である。本当に地方は大変である。いつも同じだが、何か良い方法があったら、助けてほしい。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援の延長に期待している。
□	通信会社（社員）	・サービス提供エリアの拡張などで加入者が増える見込みはあるものの、既存エリアの加入率が増加する要因はない。
□	通信会社（社員）	・業界の動きは良くないので、変わらない。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生前とまではいかないが、団体客が徐々に戻ってくれば、回復に向かう。しかし、物価や光熱費等の高騰が気掛かりである。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・米国の大手銀行の破綻があって、何か世界的な不況にならないかと非常に心配している。
□	設計事務所（職員）	・物件数に対して担当者が足りない状況は、これからも続く。
□	住宅販売会社（経営者）	・当地は都会からの移住先として他地域に先行していたが、最近はその優位性が低下しつつあり、以前に比べて、当地への移住者は減少傾向にある。また、コロナ禍による一時避難所としての別荘の役割も、感染状況が落ち着いてきたことから、需要は減少傾向にある。

	▲	商店街（代表者）	・明るい材料が全くない。
	▲	スーパー（経営者）	・中小企業の賃上げ状況により、消費マインドは下押しリスクがある。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・税金が減らないので生活が変わらない。取られる分が多く、国民負担率が47%を超えているのが原因である。
	▲	ゴルフ場（経営者）	・日本経済は比較的安定しているようにみえるが、スイスや米国の銀行破綻や、終息しないウクライナ情勢等、不安は残る。
	×	*	*
企業 動向 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・各企業の賃上げが影響し、消費回復につながることを期待している。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・問屋、小売もようやく金相場高騰後の価格を受け入れるようになってきている。少しずつではあるが、新作への問合せも増えている。新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行することで、催事への来客数の伸びは期待できる。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・依然として物価高は続くことが予想されるが、5月の新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、世の中の雰囲気は、多少は消費に傾くと予想している。
	□	食料品製造業（総務担当）	・エネルギーコストの上昇は、変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品の発表で期待感はあるものの、依然として先が見えない状態である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・ここ数か月、生産量に変化はない。
	□	建設業（経営者）	・賃上げによる個人消費が上昇すれば、数量の回復は期待できるが、それに伴って資材価格の上昇もあると思われる。
	□	金融業（調査担当）	・製造業、非製造業共に、原材料価格や電気料金上昇の影響が大きく、価格転嫁の遅れが景況感の改善につながっていない。
	□	金融業（経営企画担当）	・春闘で、様々な企業の賃上げ報道を耳にするが、全ての企業に波及できるのか不透明である。また、日本銀行の新総裁が4月に就任となるが、政策変更等があれば国内金利上昇の懸念もあるため、景気自体は変わらないか、多少落ち込むと考えている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・紙代、資材、配送料、いずれも値上げである。客に価格転嫁できない分、非常に厳しい。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・周辺の企業からも生産数減少の話を知っている。入手困難だった電子部品も、物によっては在庫があるようである。
	×	食料品製造業（製造担当）	・既に新しい穀物価格は高騰しており、更にプレミアム価格となれば、零細企業にはとても手が出せなくなる。また、販売価格に転嫁できたとしても、一層売れなくなるので、本当に厳しい状況が続いていくのではないかと。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	求人情報製作会社（総務担当）	・世界情勢に不安があるものの、現実的には周りが動き始めたので、まずは回復に向かって良くなっていく。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の収束により、ゴールデンウィーク明けから、いろいろと活動が出てくる。
	○	職業安定所（職員）	・エネルギー価格の上昇による生産活動への影響が懸念されるものの、求人は、建設業、製造業、宿泊、飲食業を中心に増加傾向にあり、コロナ禍前の水準に戻る兆しがある。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・桜の開花等、イベントが開催されることで人の動きが活発になればと思うが、天候次第などもあるので、どうなるか心配である。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症対策の緩和や全国旅行支援の延長などによる経済効果が期待されるものの、原材料不足や諸物価の高騰などの影響は、しばらく続くと思われる。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症発生前ほどの景気回復をみせているものの、物価上昇等の不安要素があるため、更なる景気回復は厳しい見込みである。
	×	—	—